

# SANKAKU

VOL.6 2023年2月

～お互いを尊重し、個性や能力を発揮できるまち～

発行元：人権啓発推進課

(男女共同参画担当)

## 一時預かり事業 ご利用者の声



いつも一時預かり事業を利用されているママに、お話を伺いました。また、一時預かり事業の利用者側から、資格を生かして、保育士として働き始められたママを紹介します。

京都市内でWEBデザインの仕事をされていた山下さん。結婚を機に舞鶴に来られ、今は個人事業主として以前働いていた会社から仕事を請け負い、在宅ワークをされています。"仕事をもらえなくなったら困る"と産後3ヶ月から仕事復帰！一時預かりを利用するまでは、七海ちゃんを膝に乗せてPCに向かい、なかなか作業が進まず困っていた時に、市の広報で一時預かりを知ったそうです。『もっと早く利用していれば良かったと後悔しています。七海も託児ルームで楽しく過ごしているので、安心して作業に集中できます。毎週一時預かりの時間に仕事はかどるので、とてもありがたいです。』と山下さん。予約の空いている日は、2枠目の時間も続けて利用されています。

山下 由季さん  
七海ちゃん  
(1歳1ヶ月)



結婚前は石川県金沢市の会社に勤務されていた西山さんは、結婚後ご主人の転勤で舞鶴に来られました。転勤後も務めている会社を辞めることなくテレワークでデザインの仕事を続けられており、妊娠中も、月に何度か金沢まで出勤されていたそうです。現在は育休中ですが、育休が明けても舞鶴でのテレワークが可能のため、一時預かりを利用して、スキルアップのための勉強をされています。一時預かり事業は、フレアス舞鶴のインスタグラムで知ったという西山さん。一時預かりでの凜(しゅり)ちゃんの様子を、ご自身のインスタグラムでも紹介されています。『この時間があるから、勉強しようという気持ちになり、個室も利用できるのでとても集中できます』と勉強熱心な西山さんでした。

西山 由佳さん  
凜ちゃん  
(8ヶ月)



託児ルームが見えるので安心して作業する山下さん。



お弁当を持参して交流サロンでランチタイム。



いつもニコニコでママを待っている凜ちゃんです。

## 資格を生かして、働き始めるきっかけに！ 福岡恵理子さん

福岡さんは、3歳の娘さんのママ。お子さんが幼稚園に入園される前までこの一時預かり事業を利用されていましたが、お子さんの入園を機に、時間に余裕が出たことから、一時預かり事業の保育士として働き始められました。4年のブランクと、お子さんがまだ小さく、フルで働きに出る勇気が出なかったそうですが、一時預かり事業の時間帯なら無理なく働ける！と、保育士として新たに始動。『楽しく働かせていただいています。お役に立てて嬉しいです』と福岡さん。これからもよろしくお願ひします。



一時預かり事業で働く福岡さん

## てんつまCAFE ～転勤族の妻の会～

1月31日、第3回目のてんつまCAFEを開催しました。今回『ほっとハウス』のスタッフの方が来て下さり、ほっとハウスの活動を紹介します。参加者の皆さんは、その場でイベントの申し込みをされたり、子育てひろばの情報交換をされました。また、舞鶴での就職先を探しているという方には、就職フェアや求人案内



話が盛り上がる参加者の皆さん

をさせていただきました。子育てや、就職に対する不安が解消できたと喜んでいただき、時間が来ても話が止まらないほど、充実した時間を過ごすことができました。

## ナプキンの設置場所が増えました。

フレアス舞鶴(中総合会館5階)のトイレにナプキンを設置してから半年が経ち、ナプキンを利用される方が多く、必要とされている方がおられることから、中総合会館の2階、3階、市役所本館1階のトイレにもナプキンを設置しました。